

桜ヶ丘だより

鹿児島大学病院広報誌

Kagoshima University Hospital PR News

特集

心臓血管内科・心臓血管外科のご紹介

看護部トピックス

心臓血管内科・心臓血管外科病棟
チーム医療

歯科診療部門トピックス

小児歯科「スペシャルニーズに対する歯科治療」

臨床技術部トピックス

リハビリテーション部門「肩甲骨へ全集中の呼吸」

◎鹿児島大学病院基金への寄附者様ご芳名一覧

55
2021.1



心臓血管内科

Cardiovascular Medicine

分野別グループによる専門性の高い診療体制で 最先端かつハートフルな循環器医療を提供。

ー2013年の着任以来、循環器医療に関する独自の運営システムを構築してこられたそうですね。

まず、診療にあたっては24時間365日の救急体制を構築しました。それから、「地域医療の最後の砦」として地域トップの医療を提供する上で、医師の専門性をより高めることを目指し、分野ごとのグループ制を導入しました。現在、心不全、高血圧・動脈硬化、心筋症、肺循環など7つのチームに分かれて診療にあたり、研究・教育においても分野に特化した研鑽を積んでいます。医局運営にあたっては、明るく、風通しの良い雰囲気づくりを意識しています。患者さんに最先端の医療をハートフルに提供する上でも、柔軟な遊び心と円滑なコミュニケーションは大事だと考えています。

ー近年、循環器医療の主流となりつつある低侵襲治療への取り組みについて教えてください。

現在、当科では、重症の大動脈弁狭窄症の高リスク症例に対するTAVI（経カテーテル大動脈弁植え込み術）、心原性性ショック症例に対するIMPELLA（補助用ポンプカテーテル）留置、発作性心房細動に対するクライオ（冷凍凝固）アブレーションや完全皮下植え込み型除細動器（S-ICD）・リードレスペースメーカー等、新しい治療の導入も完了しており、治療選択肢の拡大とともに治療対象も多岐にわたってきています。現在、心臓血管外科との協働のもと、最先端の設備と技術を備えた「低侵襲治療センター」を設置する方向で、諸々

の準備を進めています。

ーホームページでの広報のほか、地域への情報発信に積極的に取り組んでおられますね。

かかりつけ医および地域基幹病院の先生方との病診・病病連携の会として立ち上げたのが「桜ヶ丘循環器カンファレンス」です。今年は状況に鑑み、会合を冊子配布に切り替えるなど、運営スタイルの変更は余儀なくされましたが、情報共有とともに「顔の見える関係」を築いてきました。このほか、病診連携広報誌「桜ヶ丘Heart Club」の発行、教育を目的とした鹿児島循環器教育協議会の立ち上げなど地道な取り組みを続けており、手応えを感じています。

（聞き手：鹿児島大学病院 広報担当
副病院長 宇都 由美子教授）

B4病棟（心臓血管内科・心臓血管外科）

私たちに、
おまかせください！

Q 2つの科の患者さんが同じ病棟に入院しているメリットって何？

A 外科で手術を受けた患者さんは、外科的治療が落ち着いたら内科に転科するケースもありますが、場所を変える必要もないし、ケアにあたるのは同じスタッフです。患者さんの負担も少ないし、気心が知れているので安心いただけるのでは、と思っています。

Q 認知症や身体機能の衰えた患者さんへのケアは？

A 認知症の方や身体のリハビリが必要な方に関しては、院内の認知症看護認定看護師や理学療法士も交えたカンファレンスを行い、患者さんそれぞれに必要なケアに関する情報や知識を共有しています。

Q COVID-19の感染を防止するため、ご家族との面会もままならないですが…

A とくに長期入院の方はご家族に会えない寂しさや不安が高まる場合もあります。テレビ電話の操作をサポートしてご家族と話す場を設けたり、また必要な場合には主治医と連携して面会の機会を設けたりするなど、可能な限り、ご本人とご家族の安心につながることを行っています。



常にベストを尽くす



鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
心臓血管・高血圧内科学分野

大石 充 教授
(心臓血管内科 部門科長)

Profile

1990年 大阪大学医学部 卒業
1997年 豪州ハワード・フローリー研究所 留学
2007年 大阪大学医学部 老年・腎臓内科学 講師
2009年 大阪大学医学部附属病院 老年・高血圧内科 病院教授
2013年 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学 教授
2014年 鹿児島大学病院 病院長補佐(～2020.3)
2015年 鹿児島大学病院 副病院長(～2020.3)
2019年 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心血管病予防分析学(寄附講座)教授 <兼任>
日本循環器学会理事(九州支部長)、日本高血圧学会理事、日本心臓病学会理事、日本老年病医学会理事(九州支部長)、日本循環器病予防学会理事

専門医 ●循環器専門医
●高血圧専門医
●老年病専門医
●動脈硬化専門医
認定医 ●内科認定医



鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
心臓血管・消化器外科学分野

井本 浩 教授
(心臓血管外科 部門科長)

Profile

1980年 九州大学医学部 卒業
1986年 米国Baylor College of Medicine 生理学教室 留学
1987年 九州大学大学院医学研究科 修了
1995年 九州大学医学部 心臓外科学 助手
1996年 九州大学医学部附属病院 心臓外科 講師
1997年 香川医科大学医学部附属病院 第一外科 講師
2000年 (財)厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院 心臓血管外科部長
2010年 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・消化器外科学 教授
2017年 鹿児島大学病院 副病院長(～2021.3)
日本小児循環器学会評議員、日本心臓血管外科学会評議員、日本胸部外科学会評議員、日本外科学会代議員、日本血管外科学会評議員

指導医 ●日本外科学会指導医 ●日本胸部外科学会指導医
専門医 ●外科専門医 ●心臓血管外科専門医・修練指導者
●成人先天性心疾患暫定専門医

鹿児島大学病院 心臓血管外科

豊川 建二 助教
(心臓血管・消化器外科学分野 医局長)

Profile

2002年 鹿児島大学医学部 卒業
2017年 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・消化器外科学 助教
2019年 鹿児島大学病院 心臓血管外科 助教

指導医 ●ステントグラフト内挿術実施医・指導医
●経カテーテルの大動脈弁置換術実施医・指導医
専門医 ●日本外科学会専門医
●心臓血管外科専門医

愛

心臓血管外科

Cardiovascular Surgery



赤ちゃんから超高齢者まで、南九州における心臓血管外科手術のメッカとして最先端のチーム医療で命を救う。

ー現在、心臓血管外科の全領域にわたる疾患に対する治療を行うことができる体制にあるそうですね。

当科では、新生児から超高齢者まで幅広い年代の方を対象として、心臓から大動脈、末梢の小さい血管まで含めた内科的治療ができない患者さんに対して外科的な治療を行っています。この20年間の手術総数は7500例（うち開心術4900例）を超えています。とりわけ11年前からは、生まれつき心臓病を持つ小児の心臓手術を手がけ、年間100の症例をこなしています。

ー近年、循環器医療においても低侵襲治療が主流となってきたそうですね。

当科では、虚血性心疾患や弁膜症に対する通常の開心術に加え、切

開する範囲を最小限に止める低侵襲心臓手術(MICS)を取り入れていきます。同時に、主に高齢の患者さんに対し、大動脈瘤の血管内治療(ステントグラフト手術)やTAVI(経カテーテル大動脈弁植え込み術)を、さらに2020年からは、経皮的左心補助循環用ポンプカテーテル(IMPELLA)を施設限定で導入し、低侵襲治療を推し進めています。その他、B型大動脈解離に対するステントグラフト治療や重症下肢虚血に対するバイパス術、感染瘤に対するハイブリッド治療など、他施設で治療困難とされる症例などに対しても全力で治療にあたっております。

ーCOVID-19の影響による受診控えは、心臓疾患のある方にどのような影響をもたらしましたか？

国や自治体による自粛要請に呼応し、当科でも電話や情報通信機器を用いて診療し、医薬品の処方を行うなどの措置を取ってきました。一定の効果はあったと考えていますが、一方で、定期観察をスキップしたことで、急性心筋梗塞や動脈瘤破裂など、救急搬送事例も増えました。心臓血管疾患をお持ちの方は、胸痛、動悸、息切れなど、ちょっとした症状でも無理をせず、かかりつけの先生にご相談いただきたいと思います。これからも十分な感染防止対策のもと南九州における心臓血管外科手術のメッカとして心臓血管内科とタイアップしながら常に安全な医療を目指し新たな未来を切り開いて参ります。

(聞き手：鹿児島大学病院 広報担当
副病院長 宇都 由美子教授)



看護部 Nurse Division's Activity

— 患者さん中心の安心・安全・癒やしの看護 —

Topics

患者さんのハートに、私たちは「熱いハートで向き合い」、 「優しいハートで寄り添う」看護を提供します。

心臓血管内科・心臓血管外科病棟

B棟4階病棟は、心臓血管内科・心臓血管外科の循環器病棟です。内科と外科のシームレスな連携で患者さんの診療が行われており、循環器疾患の専門的知識や看護技術が必要とされる病棟です。高度な診療がなされており、心臓血管内科では重症大動脈狭窄症のハイリスク症例に対し、TAVI（経カテーテル大動脈弁植え込み術）や発作性心房細動に対するクライオ（冷凍凝固）アブレーションなどが行われ、心臓血管外科では弁膜疾患や大動脈瘤・大動脈解離に対する手術などが行われ、集中治療室で嚴重な呼吸・循環管理が行われたのちに当病棟で治療を継続していきます。そのため、集中治療室看護師とも綿密に連携をとっており、集中治療室からB棟4階に移った後も集中治療室看護師や集中ケア認定看護師による退室後訪問が行われており、現在の状態や状態変化の可能性を共有し、質の高い看護を提供して

います。また、看護師特定行為研修を修了した看護師（特定看護師）により人工呼吸器の設定変更や循環作動薬の調整が行われており、迅速かつ安全に患者さんへのケアが行われております。他にも当病棟には慢性心不全看護認定看護師、心臓リハビリテーション指導士、心電図検定合格者、DMAT隊員、呼吸療法認定士など専門的で高度な知識を得たスタッフが在籍しています。

循環器病棟ならではの緊張感がありますが、お互い助け合い、明るく元気いっぱい頑張っています。そして患者さんに「熱いハートで向き合い」、「優しいハートで寄り添う」看護を提供しています。



特定看護師によるベッドサイドでのスタッフ指導

チーム医療

治療・療養されている患者さんが安心・安楽・



心不全カンファレンスの様子。お互いの専門的な知見で話し合いを行い、患者さんに必要なサポートを共有します。

安全に治療が受けられるよう、専門性の高いチーム医療を展開しています。多職種カンファレンスでは、看護師だけではなく医師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなど様々な職種が患者さんの病状や今後の方針などについて意見交換を行い、患者サポートを行っています。リハビリテーションカンファレンスでは理学療法士、作業療法士、言語療法士とともに患者さんのリハビリの進捗や課題を共有し、早期離床や日常生活動作の拡大を目指し取り組んでいます。



歯科診療部門

Dental Division's Activity

口腔の健康から全身の健康を守る



臨床技術部

Division of Clinical Technology

診療部門と連携し、支援を行う専門職種集団

患者さん一人ひとりに合わせた歯科治療を実践します。

小児歯科「スペシャルニーズに対する歯科治療」

当科では、歯科治療に対する恐怖心が強いお子様や、障がいを持たれている方で、一般の歯科診療所では対応の難しいスペシャルニーズのある患者さんを対象とした歯科治療を行っています。不安や緊張のため、なかなか治療ができるようにならない、もしくは筋肉の緊張が強い、不随意運動がある、嘔吐反射が強いなどの理由で通常的环境下では歯科治療の受け入れが困難な場合、治療方法のひとつとして静脈内鎮静法を用いた歯科治療や全身麻酔を使用した集中歯科治療等、患者さん一人ひとりに合った診療計画を立てて治療を進めております。



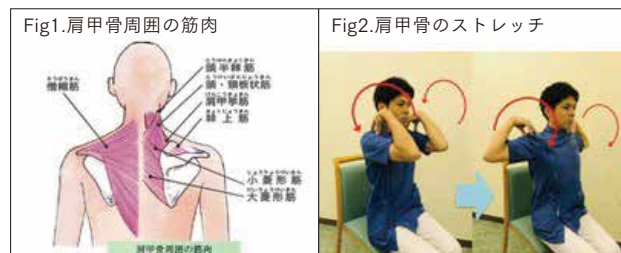
患者さんが安心して診療を受けられるよう、安全で質の高い診療、温かい雰囲気作りを心掛けております。お気軽にご相談下さい。

患者さんの状態を知り、安全な治療を実施するために、小児歯科医、歯科麻酔科医、口腔外科医が協力し、専門医によるチーム医療を提供しております。

減☆肩こり 解消ストレッチ

リハビリテーション部門「肩甲骨へ全集中の呼吸」

肩こりは、もともとの体型や、前傾姿勢(スマホ・パソコン操作など)を長時間取り続けることで筋肉の血行が悪くなって硬くなることで生じます。肩こりの原因となる筋肉は、首・肩・背中の中範囲にあり、特に肩甲骨につながっているのが特徴です(図)。そこで、肩こり解消のポイントとして肩甲骨周囲のストレッチをおすすめします(写真)。背筋を伸ばして肩甲骨の周りの筋肉へ全意識を集中してゆっくりと動かすことで、背中から肩にかけて楽になります。無理に伸ばしたり、痛みを我慢して行うのではなく、深く呼吸しながら行ってください。ストレッチは、自身で出来るセルフケアの一つです。写真を参考にし、朝起きた後に5回、寝る前に5回することを習慣にしてみましょう。



手を肩に置き肘で円を描くようにしながら、肩甲骨を大きく動かすイメージでゆっくり回します。反対回しも含め片方5回ずつ。

鹿児島大学病院基金への寄附者様ご芳名一覧

鹿児島大学病院基金へのご協力を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。お受けいたしました寄附金は、基金の目的に沿って有意義に活用させていただきます。ご寄附いただきました皆様方への感謝の意を込めまして、ご芳名等を掲載させていただきます。

なお、ご意向により、ご芳名等の掲載をご希望されない寄附者様につきましては、掲載いたしておりません。今後とも、鹿児島大学病院へのご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年1月 鹿児島大学病院長 坂本 泰二

令和2年5月から令和2年11月までの寄附者様(順不同・敬称略)

山村 隆美	中川 昌之	大脇 哲洋	古川 良尚	小林 裕明	西谷 佳浩	西園 直記	中村 雅之	於保 孝彦	大石 充	井本 浩	西山 洋子	小寺 ユリ子	嘉戸 英二	蘭田 誠二	島 広子	希望の寄附者様	【ご芳名のみ掲載】	濱洲 穂積	【一万円】	又木 雄弘	【二万円】	山口 忠雄	杉村 光隆	赤崎 安昭	中村 伸治	轟木 睦美	【三万円】	岡本 康裕	宮内 スミヨ	佐潟 芳久	吉浦 敬剛	杉浦 剛	佐野 輝	【十万円】	坂本 泰二	【二十万円】	【三十万円】	◆個人
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	--------	-------	-------	------	---------	-----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	------	------	-------	-------	--------	--------	-----

鹿児島大学病院基金へのご寄附のお願い



お問い合わせ先 鹿児島大学病院 総務課 企画・広報係
TEL:099-275-6692 FAX:099-275-6846
Eメール: kufsyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp
基金ホームページ: https://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/fund/

脳野 龍也	赤崎 雄一	下之園 俊之	古里 嘉啓	吉本 幸司	萩元 美恵野	白濱 一喜	西郷 康正	政元 いずみ	橘 螢	浅山 恵子	【掲載を希望されない寄附者様】	七十四名	◆団体等	【百万円】	株式会社サニタリー	一般財団法人親和会	【団体等名のみ掲載】	希望の寄附者様】	霧島市立医師会	医療センター	【掲載を希望されない寄附者様】	一団体
-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-----	-------	-----------------	------	------	-------	-----------	-----------	------------	----------	---------	--------	-----------------	-----

表紙の写真

TAVIの執刀を終えた鹿児島大学病院循環器センターの手術チーム【写真左から】

蘭田剛嗣先生(心臓血管内科)、神田大輔先生(心臓血管内科)、豊川建二先生(心臓血管外科)、山下雄史先生(心臓血管外科)



鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより 55号

発行日/2021(令和3)年1月発行 発行/鹿児島大学病院広報委員会
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6710 URL: http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/

